

第18回

日本へリコバクター学会学術集会

平成24年6月29日(金)

当院における自費診療によるピロリ菌外来の現状

赤心堂病院 外科

桂田純二郎、松本力雄

目的

H.pylori感染症に対しての除菌療法は、本ガイドラインでグレードAと推奨されている。

しかし、現時点において、保険適応は限られ、適応外での感染診断や除菌療法を希望する患者は、増加傾向にある。

当院では、自費診療でのピロリ菌診療を開始し、患者背景や安全性、治療成績について検討した。

方法

当院ではこれまで、ピロリ菌の除菌において、個々の外来担当医が個別に診療を行っていた。しかし、保険適応外でのピロリ菌の除菌を希望する患者数の増加に伴い、2011年10月より、自費診療でのピロリ菌外来を開設した。

主に、H.pylori感染症認定医が、文書での説明と同意を取得し行っている。

① 感染診断、除菌薬、除菌判定

・感染診断 : 便中H.pylori抗原検査

・除菌薬 : ① エソメプラゾール
② アモキシシリン
③ メトロニダゾール

・除菌判定 : 尿素呼気試験

② 診療料金

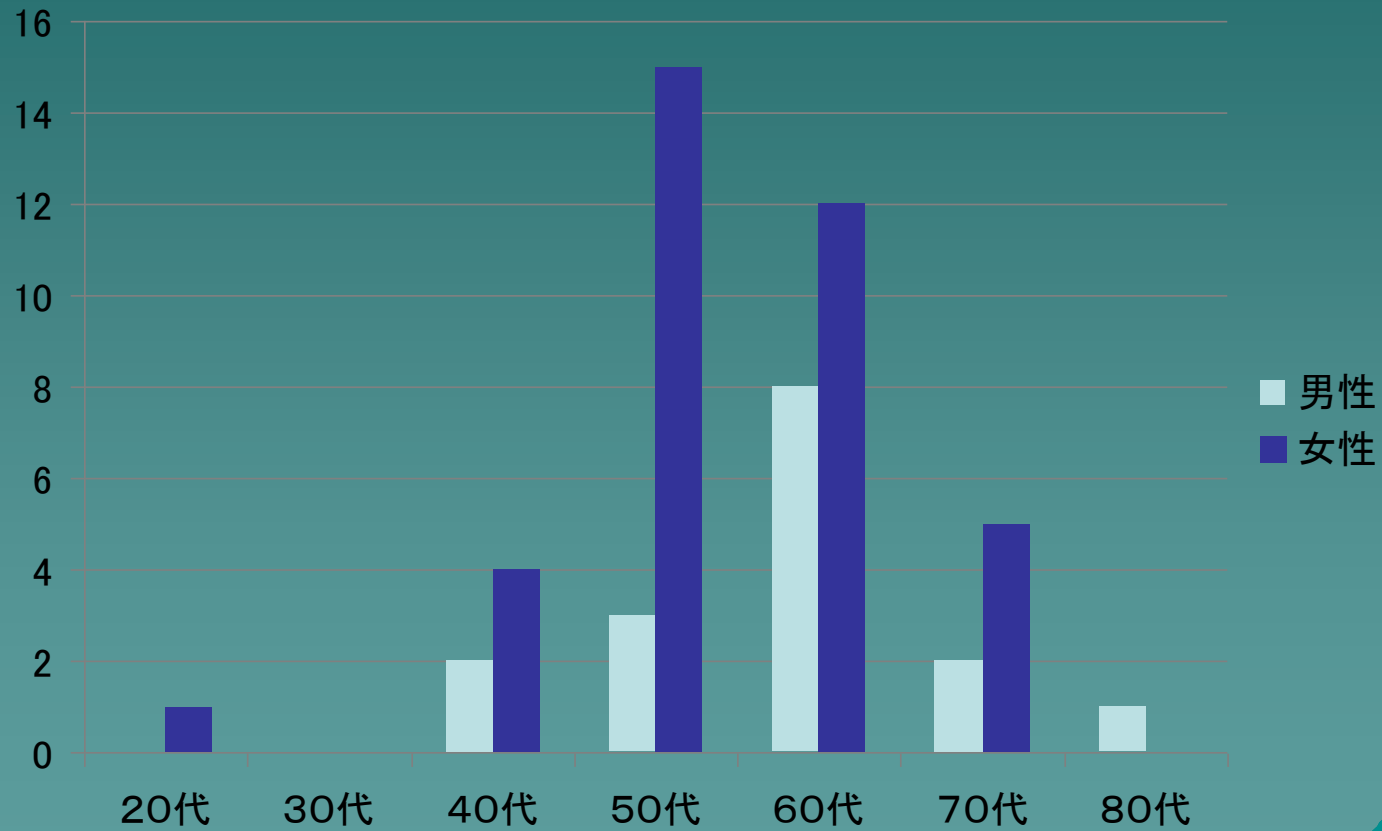
感染診断のみ	8,000円
除菌と除菌判定	17,000円
感染診断～除菌判定	21,000円

結果

- ◆ピロリ外来を開設した2011年10月17日から2012年4月30日までの受診者は53名であった。
- ◆年齢は25歳～87歳であり、平均59.7歳であった。
- ◆性別は、男性16名、女性37名と1:2の割合で女性が多かった。

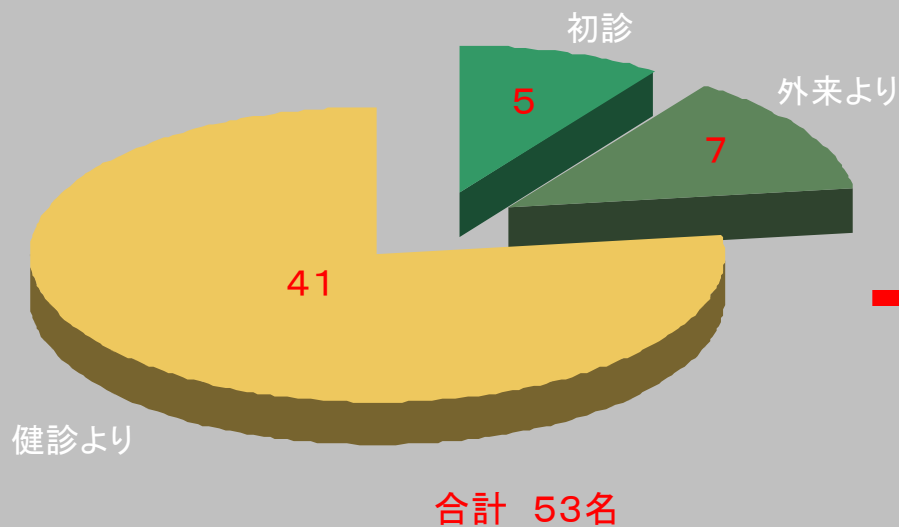
年齢・性別

(人)

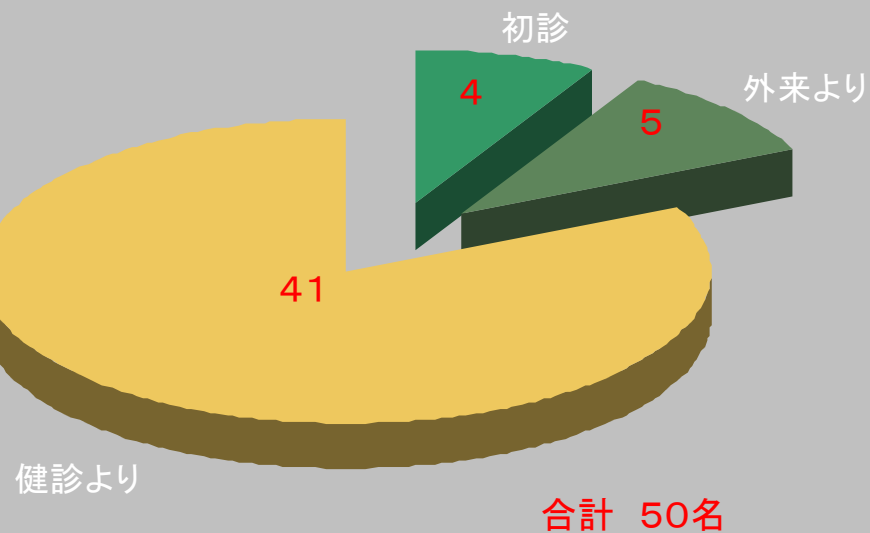


受診状況と除菌療法施行者

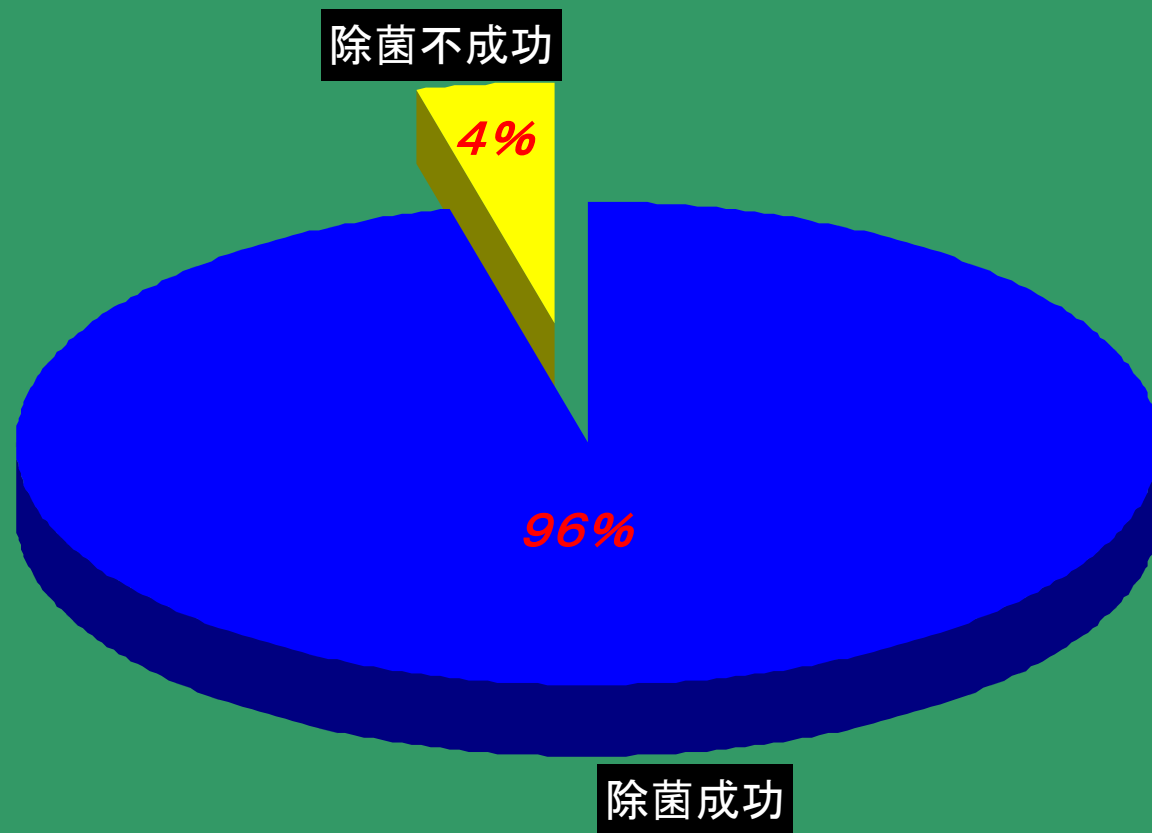
受診者数(名)



除菌療法施行者数(名)



除菌率



有害事象

◆ 下痢：2名（4%）

内服開始3日後に発症し、自然軽快。

内服開始7日後に発症し、整腸剤で改善。

◆ 発疹：2名（4%）

内服開始2日後に発症し、自然軽快。

内服開始6日後に発症し、自然軽快。

除菌後の身体変化

(除菌薬内服終了1ヶ月後)

- ◆ 便通の改善: 2名 (4%)
- ◆ 胃もたれの改善: 5名 (10%)
- ◆ 腹満感の消失: 2名 (4%)
- ◆ 食欲増加: 1名 (2%)

まとめ

- ◆ 除菌率は、96%であった。
- ◆ 有害事象では、下痢、発疹がそれぞれ2%認められたが、いずれも軽度であった。

結語

当院で自費診療によるピロリ外来を開設した。
エソメプラゾールを用いた除菌療法は、安全
に行われ、自由診療で有用と思われた。

It is safe and effective that we perform
H.pylori eradication therapy using
esomeprazole.

COI開示

赤心堂病院 外科

桂田純二郎

演題発表に関連する利益相反は
ありません。